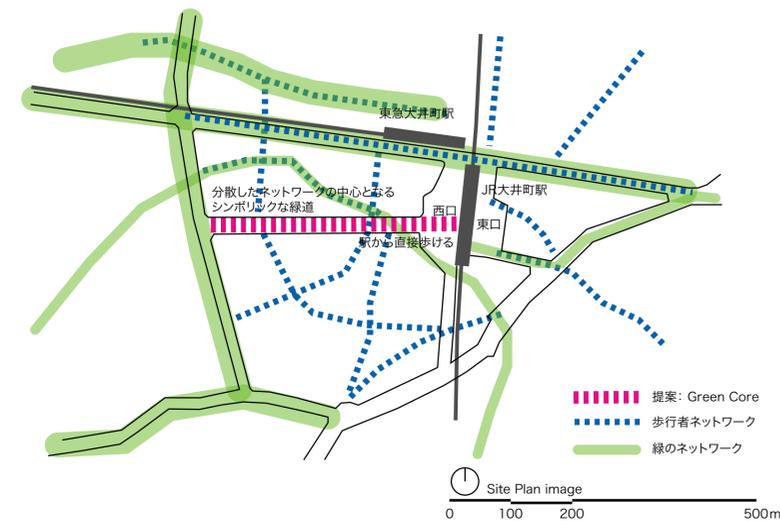


GREEN CORE and NETWORKS

大井町駅前中央通り(どんたく通り)に「大きな」広場を、地域のコミュニティ拠点として提案します。
 大井町地区の「緑道ネットワーク」「歩行者ネットワーク」のランドマークとしての役割に加え、
 広場を運営していくための「住民ネットワーク」を形成し、持続可能な社会システムの契機となります。



1. 人が多く集まる大井町らしい「賑わい」の創出

「大きな」広場を、小さな単位にわけて、地域の中で運営する過程を通して、
 大井町らしい「賑わい」が生まれてくると考えています。
 日常的な活動(植栽の人替、将棋をうつ、詩吟を誦う、缶蹴り、ひなたぼっこ、etc...)から、
 年に1回の大きなイベント(節分鬼ごっこ、お花見、ゴミ拾い、大井どんたく祭り、マラソン、etc...)まで、
 周辺に分散している「賑わい」を呼び込んで、地域の人も来街者も楽しめる、場所になります。



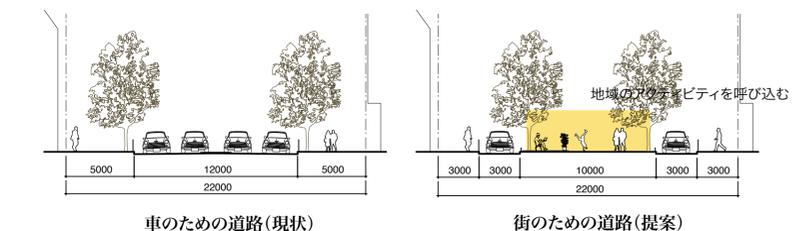
2. 憩いの場としての緑とオープンスペースの創造



この広場には様々な素材が使用され、パッチワーク状にデザインされています。
 歩いているだけでも四季の移り変わりをを感じる事ができるような憩いの場所です。
 また、所々にデザインされたオープンスペースでは、日常的には団欒の場所に、
 イベント時にはステージとなって、様々な場面で活躍します。

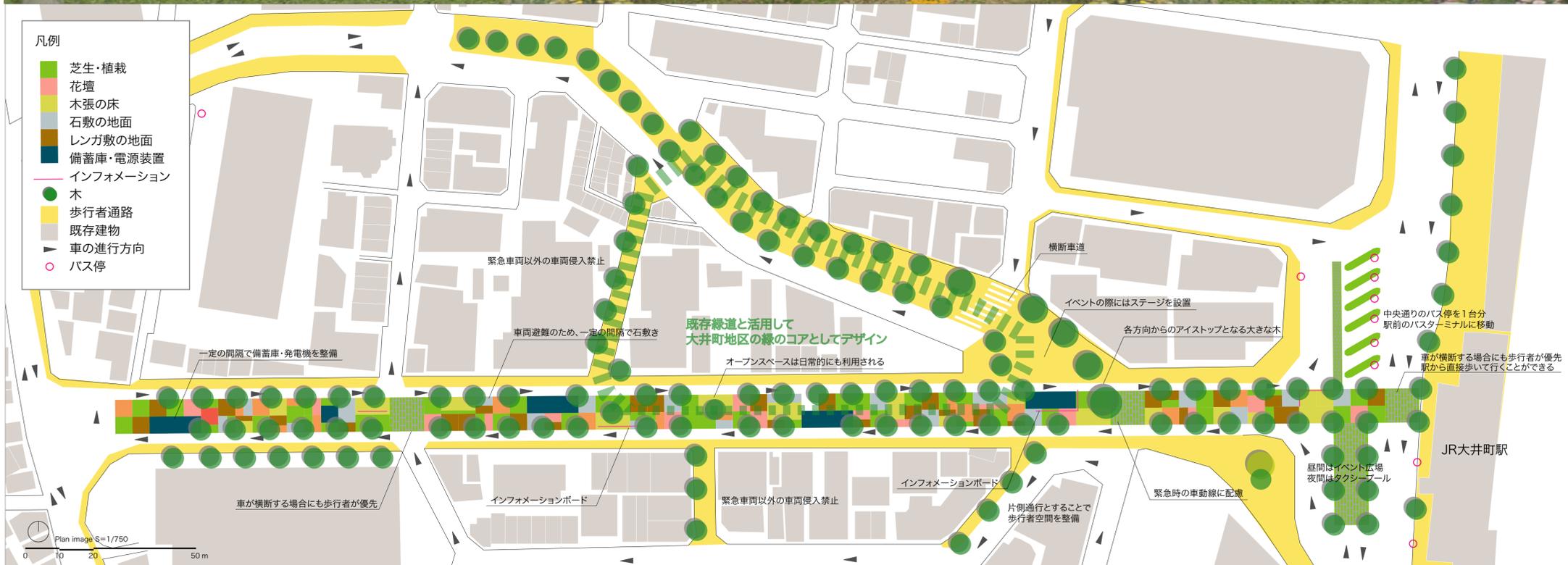
3 子供やお年寄りにも安心・安全な道路交通計画

この広場には、駅から直接アプローチすることができます。
 この空間は、車のためではなく、街のためにデザインされた道路です。
 車と歩行者の動線が交差する場所では、歩行者が優先されます。



4 様々な災害に対応した取組み

日常的に利用される地域のランドマークとして、広域避難場所になることに加え。
 備蓄庫・非常電源を備え、地震災害時等には情報センターとしても機能します。
 また緊急時には、緊急車両のための専用道路として活用されます。



～人があつまると大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

提案要旨説明書

■作品タイトル

Green Core and Networks

■提案要旨

現在、大井町駅周辺の賑わいは、駅前中央通りを中心に
分散しているように見えます。そこで、駅前中央通りを「街のための
道路」としてデザインし、賑わいを集約し、ネットワークの中心となる
よりな広場として、提案したいと思います。

この広場には、大井町駅から直接歩いてアプローチすることが
でき、住民の方だけでなく通勤者や来街者にもアクセス
しやすい場所となります。ここに緑を集約することによって、
中央通りを周辺地区のランドマークとしてデザインします。

また、デザインのプロセスにおいては、全てを一度に行うので
はなく、身近なスケール（例えば5m×5m）程度に小分けにし、
ネットワークのよりに進めていくことで、地域の方々の参加を
うながし、大井町らしさを育めるような、誇りとなるよりな
想いの込められた広場となるように配慮しています。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。